

朝日大学との産学連携活動に関する協定を締結

セイノーホールディングス株式会社（本社 / 大垣市田口町1番地、社長 / 田口義隆）では、朝日大学（岐阜県瑞穂市穂積1851番地、大友克之学長）と地域社会の発展と人材育成に寄与することを目指し、地域産業と大学教育の分野において連携協力していくための産学連携活動に関する協定を締結することになり、2月5日に調印式を行いました。

今後、朝日大学が有する研究・教育資源の情報提供や、セイノーホールディングスが有する産業資源の情報提供を相互に行うとともに、講演会や寄附講座などを開催していきます。

産学連携活動の内容

セイノーグループに属する企業の代表者による講演会
西濃運輸の現場や本社で経験を積んだ幹部社員による寄附講座
（前期・後期同一の内容で、それぞれ90分×15回の講座）
朝日大学大学院経営学研究科 グローバルロジスティクス研究会「物流サービス研究会」への参加・協力
学生によるセイノーグループ企業への職場見学
インターンシップ学生の受け入れ

調印式の概要

日 時：平成25年2月5日（火）

11時～11時45分

場 所：朝日大学 1号館2階「理事長室」

調印者：・朝日大学

学長 大友 克之

・セイノーホールディングス

取締役事業推進部輸送事業担当 大塚 委利

大友学長 あいさつ要旨

法学部・経営学部ではこのような企業との産学連携活動は初めての試みとなるので、若き学生をビシビシ指導して欲しい。少子高齢化が進む中、いかに少ない子供たちを主体的に活躍できる人材として育成するかが我々の大きな使命である。そこで今回のセイノーホールディングスとの連携を、人的にも学術的にも実りの多いものにしていきたい。

大塚取締役 あいさつ要旨

今回の活動は、セイノーグループの核である物流事業を切り口に構成したいと考えている。輸送事業は普段、あまり意識することのない業界なので、今回の活動を通じて理解を深めて欲しい。長年培ってきた我々のノウハウを基盤に、東日本大震災のような非常時の対応など、実践的でリアリティを持った話を伝えていきたい。



調印を行う大塚取締役（左）と大友学長（右）